

今方 裕子

准教授
博士(保健学)

Yuko Imakata

✉ yuko.imakata@komatsu-u.ac.jp

研究 Keyword

がん看護、化学療法、浮腫、皮膚障害

プロフィール

2022年 金沢大学大学院 医薬保険学総合研究科 保健学専攻 博士後期課程修了
2018年 石川県立看護大学 成人・老年看護学講座 助教
2023年 石川県立看護大学 成人・老年看護学講座 講師
2024年 公立小松大学 保健医療学部 看護学科 准教授

研究分野

がん看護学

所属学協会

日本がん看護学会、日本創傷・オストミー・失禁管理学会、日本緩和医療学会、
日本看護科学学会、看護理工学会、日本死の臨床研究会、看護実践学会、
国際リンパ浮腫フレームワークジャパン研究協議会、日本看護協会

がんサバイバーの
健やかな暮らしを実現したい

専門分野・研究分野

がん治療の中止に至ることがない支持療法確立を目指す

がんは、日本における死因第一位を占めており、死亡数は増加し続けている。手術・化学療法・放射線療法が発展する一方で、その副作用によって患者のQOLに大きな影響を及ぼしている。さらに副作用が重度となることで、QOLの低下のみならず、がん治療の中止に至り患者の生命予後に影響を及ぼす可能性がある。そのため、がん治療中止に至ることがない支持療法確立を目指し、看護ケアの技術開発を行っている。

研究内容

がん治療による浮腫や皮膚障害などの副作用へのケア開発

がん治療による浮腫や皮膚障害などの副作用について、超音波画像診断装置(エコー)を用いた観察や、教育プログラムを構築し、早期発見・早期治療に導くためのケアを探求している。がん化学療法投与中に出現する浮腫に関しては、これまで乳がんドセタキセル投与中の下肢浮腫の出現要因を明らかにした。また、エコーを用いた観察によって下肢浮腫の特徴を明らかにした。今後がん患者の浮腫予防ケアの開発のため、多職種の専門家と協働しエビデンス構築を図りたい。



図1. 化学療法による副作用で生じた浮腫

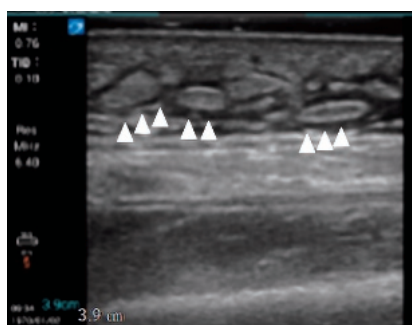


図2. 浮腫が悪化した際にみられるエコー画像(敷石様像)

シーズ・地域連携テーマ例

- がん化学療法の副作用に関するケア技術開発
- 化学療法関連浮腫のエコーアセスメントに関して
- 施設や地域でのがん看護専門看護師活動

受賞

- 2023年7月 2023年度 学術論文優秀賞, 日本創傷・オストミー・失禁管理学会
- 2023年5月 ベストティーチャーズ賞, 石川県立看護大学
- 2015年6月 第20回日本緩和医療学会学術集会 優秀演題

論文

- 超音波画像診断装置を用いた浮腫観察技術習得のための教育プログラムの評価 今方裕子他 リンパ浮腫管理の研究と実践 11 (1) 9-15 2024年6月
- がん患者が悪い知らせの受容過程において認識した認定看護師・専門看護師の看護実践 今方裕子他 死の臨床 46 (1) 169-174 2024年6月
- Characteristics of Developmental and Healing Process of Docetaxel-Induced Lower Limb Edema in Patients with Stage IV Breast Cancer: A Case Series Yuko Imakata et al Palliative Medicine Reports 4 (2) 2023年2月
- Clinical features of lower limb edema in patients with breast cancer who underwent docetaxel chemotherapy: a retrospective observational study Yuko Imakata, JWOCM 26 (3) 269-277 2022年1月

講演・口頭発表等

- Clinical features of edema in patients with breast cancer receiving docetaxel: A scoping review Yuko Imakata et al 第31回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会 2023年3月

競争的資金等の研究課題

- 乳がん患者に対するドセタキセル療法中に生じる下肢浮腫の早期発見方法の確立 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (C) 2024年4月-2027年3月
- ドセタキセルの投与を受けた乳がん患者の下肢浮腫の臨床的特徴に関する観察研究 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (C) 2021年4月-2024年3月